

2016年3月25日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

3月25日、「生活習慣病と糖質制限」をテーマに市民公開講座が行われました。ご飯やパン、麺類などを控え、おかずを中心に食べる糖質制限。まず慎重派として別宮佳奈子内科医師が「肥満の人に短期間で緩めに行うことは効果がある」と話し、続いて肯定派の栢下淳子栄養課長は「糖質制限を使いこなすことが大切」と語りました。2人はそれぞれの立場から糖質制限のメリットやデメリットを説明し、集まった160人からは「糖質制限はやり方によって、プラスにもマイナスにもなるとわかった」などの感想が寄せられました。



別宮佳奈子内科医師



栢下淳子栄養課長

2016年2月26日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は地域の皆さまとの交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

2月は「CT・MRI 検査で病気がわかる」をテーマに、赤川拓也放射線技術第一係長が CT 検査、瀬藤隆司診療放射線技師が MRI 検査についてそれぞれ講演しました。両者は病気が画像にどのように写るかをメインに両検査の違いや特長を詳しく解説し、参加した 158 人は普段触れることのない分野に聞き入っていました。

瀬藤隆司診療放射線技師は「今回の講座によって、患者さまに CT・MRI 検査に対する正しい知識と画像に対する興味を持っていただければと思います」と語り、講演終了後の質問タイムには、造影剤の種類やインプラント・化粧が検査に影響するかなどの質問が多数寄せられました。また回収したアンケートには「CT・MRI の基本が良くわかる良い講演だった」「病気を知るには検査でよく調べることが大事だとわかった」「MRI 検査を受けたいと思った」など多くの感想をいただきました。



2016年1月22日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

2016年最初のテーマは「大動脈瘤ってなに？」。大谷享史心臓血管外科副部長が大動脈瘤の危険因子、症状や手術について術前・術後を比較した動画やスライドなどを用いて細かく解説しました。大谷医師は、「大動脈瘤はほとんどの場合が無症状で、他疾患の精査中に偶然発見されることが多いです。CTやエコーを受けて早期発見し、破裂する前に手術を受けることが大切です」と語り、会場に訪れた参加者137人は真剣な表情で耳を傾けていました。



2015年11月27日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

11月は、「見て、やってみよう！心肺蘇生」をテーマに開催しました。講師の福田靖救急部長から、胸骨圧迫（心臓マッサージ）の仕方やAED（自動体外式除細動器）の使用方法についてスライドやアニメーションで学んだあと、参加者らは実際に体験。胸骨圧迫を正しく実施できているかどうかを音で判断できる器具を用いて、福田医師より説明されたポイントに留意しながら適切に実施しました。周囲と相談したりサポートスタッフとして参加した救命士や看護師らに質問したりと、和やかな雰囲気の中で行われた市民公開講座となりました。



福田救急部長



胸骨圧迫の指導を受ける参加者

2015年10月23日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

10月のテーマは、「肺炎は死亡率第3位です／肺炎球菌ワクチンは必要か?」。木村秀第一外科部長が肺炎の感染経路、予防ポイントや肺炎球菌ワクチンの種類について解説しました。木村医師は「肺炎予防はワクチンのみに頼らず、うがい・手洗い・口腔ケアや規則正しい生活などを心がけることが大切」と語り、聴講者99人からは相次いで質問が寄せられました。



「肺疾患を持っている人でもワクチンは接種可能ですか」との問いに、「良い質問ですね、遠慮せずぜひ接種してください」と応えていました。

2015年9月24日／第13回心臓病ビジュアル市民公開講座を開催しました

13回目の心臓病ビジュアル市民公開講座が9月24日に開催されました。今年も徳島赤十字病院から徳島市あわぎんホールへカテーテル検査や治療の様子を生中継し、サテライト会場の当院大会議室でも聴講可能とあり、両会場を合わせて249人が訪れました。

講師の4人はそれぞれ狭心症やカテーテルについて詳しく解説し、当院からも司会に日浅芳一院長、TAVIについての講演を細川忍医師が行いました。カテーテルの生中継では循環器内科の岸宏一医師、高橋健文医師、小倉理代医師らが術者となりました。口頭での手術説明は、丁寧でわかりやすかったと参加者からは好評だったほか、「とても良い講座に参加でき勉強になった」、「最新治療は患者さんへの負担が軽減されいると分かり安心した」、「これからも毎年続けてほしい」など多くの意見が寄せられ、カテーテル治療の実際を市民の皆さまに知っていただく機会となりました。



カテーテル室での様子



あわぎんホール

2015年8月21日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

8月のテーマは、「ほんとは認知症なんて怖くない」。神経内科の仁木均医師が認知症について正しく理解していただけるよう症状や種類、予防の仕方などについて詳しく解説しました。「認知症はよくわからない病態ではなく、様々な症状について予測対応が可能です」と語り、認知症患者と付き合うための留意点などを細かく例を挙げて説明しました。聴講者は過去最多となる163人に上り、社会的注目度の高さがうかがえる市民公開講座となりました。終盤の質問タイムには「1度忘れたことはずっと思い出せないのですか」など、たくさんの疑問や質問が寄せられて、仁木医師は一つひとつ丁寧に解答していました。ウォーキング後は…「おいしいね！」



2015年7月24日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

7月のテーマは、「「眼瞼下垂症」まぶた、重くありませんか？」

形成外科の清家卓也医師が、まぶたの仕組みや眼瞼下垂症の症状、治療についてイラストや写真、図解を用いてわかりやすく解説しました。清家医師は「最近目が疲れやすい、夕方になると視野が狭くなる、頭痛がひどくなった、などの症状がある方は眼瞼下垂が原因



の場合があり得ますので受診してください」と呼びかけ、会場からは医師の説明に頷いたり、「手術すると頭痛や肩こり、首こりにも効果があるというのは本当でしょうか」など次々に質問する光景が見られました。参加者は86人で若年層も多く、回収したアンケートには今後、開催を希望するテーマについて様々な意見が書かれていたほか、県南など地方での開催を願う声も聞かれました。

2015年6月26日／市民公開講座を開催しました

徳島赤十字病院は、地域の皆様との交流を深め、病院をより身近に感じてもらうために、市民公開講座を定期的を開催しています。

6月のテーマは、「ここまで治る！進んでいる！B型・C型肝炎の最新治療」。消化器内科の野々木医師が、肝臓の働きなどの基礎的な話からB型・C型肝炎の最新治療や医療費助成制度についてまで、当院の治療状況を交えながらわかりやすく解説し、81名の参加者が熱心に耳を傾けていました。



2015年5月10日／第14回とくしま健康フォーラムを開催しました

5月の恒例行事となっている「とくしま健康フォーラム医師と歩こう！～うきうきウォーキングで健康長寿～」を今年も開催しました。白衣ではなく私服姿の医師や看護師と気軽に交流できるとあって、毎年大人気のイベントです。14回目となる今年も、132名の市民の皆様にご参加いただきました。

プログラムは当院スタッフによる講演会からスタートし。平井文代看護師長が

「長寿の秘訣 みんなで禁煙に取り組もう！」、栢下淳子栄養課長（管理栄養士）が「味覚をきたえる！！」、小田実リハビリテーション課長は「運動療法のすすめ」と題して、それぞれわかりやすくお話ししました。講演後はみんなでストレッチを行い、1.5kmと3kmのコースに分かれてウォーキング。参加者たちは、医師や看護師と笑顔で会話を交わしながら、新緑の中を気持ちよさそうに歩いていました。ウォーキングを終え、血圧と血糖値の測定を済ませた方にはホスピタルカフェから「おはようラーメン」と「みたらしたけのこ団子」が振る舞われました。

参加者からは「毎年とても楽しみにしています。ええお天気で気持ちいいですね」、「この麵も団子もたけのこで出来とん！？美味しい！」と様々な感想をいただきました。



講演会の様子



入念にストレッチ



新緑の中をウォーキング



ウォーキング後は…「おいしいね！」